



(c)2013「くちづけ」製作委員会

障がい児者への性暴力が認識される社会へ

映画「くちづけ」上映会&トークセッション

NPO法人しあわせなみだが行った調査で、回答した発達障害者の71%が、何らかの性暴力を経験していることが、明らかになりました。海外の調査では、障がい者は健常者の3倍、性暴力を経験するリスクを有しているという結果も出ています。

しかし日本では、障がい児者が性暴力を経験していることは、あまり知られていません。

障がい者への性暴力を取り扱った映画「くちづけ」上映、ならびにゲストによるトークセッションを通じて、何が起きているかを知り、必要な法制度を考えましょう。

【第1回】

2018年12月5日(水) 14:40~18:00
東洋大学白山キャンパス6210教室(6号館2階)

ゲスト

金子磨矢子さん
(大人の発達障害当事者のためのピアサポートNecco)
橋謙太さん
(NPO法人 ファザーリング・ジャパン メインマンプロジェクト)

定員 約150名(先着順)

※席に余裕がある場合のみ当日参加可能です

参加費 無料

申込 11/28(水)までに
QRコードよりお申込ください

主催・問合せ

東洋大学ボランティア支援室
〒113-0021 東京都文京区本駒込1-10-2 雨水会館1階
TEL: 03-3945-7927 MAIL: mlvolsup@toyo.jp



(学生用)



(一般用)

【第2回】

2018年12月12日(水) 15:00~18:00
衆議院第一議員会館地下1階大会議室

ゲスト

岩田千亜紀さん
(東洋大学社会学部社会福祉学科助教)
金子磨矢子さん
(大人の発達障害当事者のためのピアサポートNecco)

定員 300名(先着順)

※席に余裕がある場合のみ当日参加可能です

参加費 無料

申込 QRコードよりお申込ください

主催・問合せ

NPO法人しあわせなみだ
MAIL: info@shiwassenamida.org



映画「くちづけ」

Story

知的障害のあるマコは、元人気漫画家の父親 いっぽんに連れられ、知的障害者の自立支援グループホーム「ひまわり荘」にやってきました。マコはある事件をきっかけに、いっぽん以外の男性をこわがっていました。しかし、ひまわり荘の入居者うーやんにだけは心を開き、いっぽんを驚かせます。安定した生活を取り戻しつつあったいっぽんとマコ、そしてひまわり荘の一同に、厳しい運命がふりかかります。

ウェブサイト:<http://www.kuchizuke-movie.com/>

出演

貫地谷しほり 竹中直人 宅間孝行

田畑智子 橋本愛 岡本麗 嶋田久作 麻生祐未 平田満 宮根誠司 伊藤高史 谷川功 屋良学 尾畑美依奈 万田祐介



(c)2013「くちづけ」製作委員会

会場

第1回

東洋大学白山キャンパス
6210教室(6号館2階)

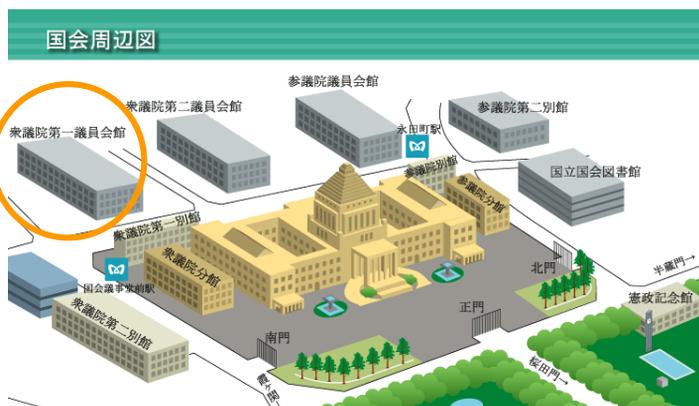
都営地下鉄三田線白山駅徒歩5分/千石駅徒歩7分
東京メトロ南北線本駒込駅徒歩5分



第2回

衆議院第1議員会館
地下1階大会議室

東京メトロ丸ノ内線・千代田線国会議事堂前駅
1番出口直結
東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線永田町駅
1番出口から徒歩5分



【入館方法】
入り口で係員に、上映会参加を伝えます。
入館証を受け取り、警備員に入館証を見せると、会館内に入れます。
正面にあるエスカレーターもしくは右側にあるエレベーターで、地下1階にお越しください。

【障がい児者への性暴力】

2018年3月に、大人の発達障害当事者のピアサポートNeccoで実施した調査で、回答者32名中23名が、「望まないキス」「望まないセックス」等の性暴力を経験していることが明らかになりました (<http://disabled.shiawasenamida.org/>)。また2018年9月に内閣府が実施した『「若年層における性的な暴力に係る相談・支援の在り方に関する調査研究事業」報告書』では、性被害を経験した若年女性の55%に、障がいの可能性があることが分かりました。しあわせなみだは、「性犯罪被害者としての障がい児者」が法制度に盛り込まれるよう、働きかけを行っています

【NPO法人しあわせなみだ】

性暴力撲滅に向けた啓発活動を手掛けています。
ウェブサイト:<http://shiawasenamida.org/>

本イベントは、ソーシャルジャスティス基金助成事業として実施します